

## 親子の学び応援講座実施要領

### 1 目的

主として、幼稚園・小学校における家庭教育の推進に向けて、親の学び・家庭での実践活動を支援する。

### 2 主催

福島県教育委員会

### 3 事業内容

#### (1) 対象PTA数

県内に7地区1連合PTAに支援する。(県内7連合PTA)

※地区の実態に応じて、中学校、保育所も対象とし、校種が偏らないように設置する。

#### (2) 対象PTAに対する支援

各地区ブロック会議で検討した内容を組み込みながら、家庭教育講座の開催及び家庭での実践活動が図られるよう、必要な事務手続き、資料の提供、講師及び託児員の派遣、講座の運営等を支援する。

#### (3) 支援期間

1年間

※次年度以降も連合PTAの活動として位置づけ、継続して実践されるよう、役員と十分連携を図っておく。

#### (4) 講座の開催数

1連合PTA1回以上とし、予算内であれば、適宜開催することができる。

#### (5) 講座の周知

講座開催については、保護者等へは対象連合PTAが主体となり行う。各教育事務所は、各ブロック会議委員、地区連合PTA等に周知し、活動の普及に努める。

#### (6) 成果報告

対象連合PTAは、事業終了後に、別紙(様式1)「親子の学び応援講座実践報告書」を作成し、域内教育事務所に提出する。

### 4 親子の学び応援講座の実施手順

実施については、対象連合PTAの実態に応じて工夫し、下記の手順で計画を立てることが望ましい。

#### (1) 問題点の把握(アンケートの実施等)

↓

#### (2) 講座のテーマと実践活動を決定<sup>※1</sup>

↓

#### (3) 第1回講座の開催(講演会<sup>※2</sup>・実践方法の説明・ワークショップ<sup>※3</sup>)

- ↓
- (4) 各家庭での実践<sup>※4</sup>
- ↓
- (5) 実践の振り返り<sup>※5</sup> (学級懇談会等で設定、簡単な記録を依頼)

※1 テーマについては、以下のような内容が考えられる。

- (例)
- ・コミュニケーション…「あいさつ」「会話」「感謝の心」  
「上手なほめ方・しかり方」
  - ・規範意識…「我が家のルール」「子どもに示したい親の振るまい」
  - ・健康と食育…「早寝早起き朝ごはん」「弁当の日」「家族で運動」  
(健康教育課、農産流通課の事業の情報提供)
  - ・メディア…「メディアコントロール」「ノーテレビ・ノーゲームデー」
  - ・読書…「読み聞かせ」「家読タイム」
  - ・体験活動…「お手伝い」「友達との遊び」「地域行事への参加」
  - ・家庭学習…義務教育課「家庭学習スタンダード」とのタイアップ  
(交通費は主催者側負担で県から派遣可能)  
事前に義務教育課で実施の把握を希望

※2 講演会について

講演会は、親子が共に参加できる内容が望ましい。しかし、対象連合PTAの実態に応じて、親のみの参加でも実施できることとする。

※3 ワークショップについて

実践活動に向け、親子や親同士の話し合いをもちながら、具体的に各家庭で何を実践するかを検討するような活動を行う。

※4 家庭での実践について

講演会等を受けて、親子で話し合い、家族が一体となって実践できるようにする。

※5 実践の振り返りについて

学級懇談会等で各家庭の実践状況を報告し、家庭教育上の課題について親同士が話し合う機会を設定することが望ましい。